

# 13 — 15 高圧蒸気処理によるクス材の着色試験と製品の試作研究

末吉光雄・菊池元・上原守峰・山角達也

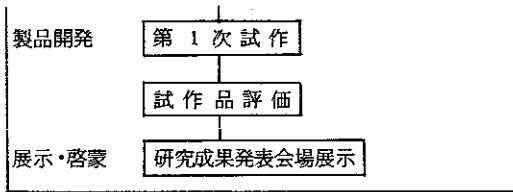
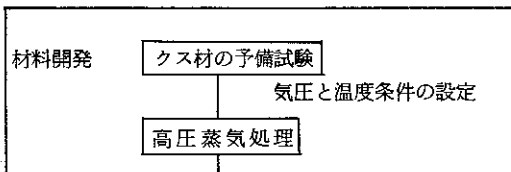
## 1. はじめに

クス材を用いた民芸調家具の研究を継続して行ってきたが、シャリンバイによる着色にすり漆仕上げでは思ったような色が出せず色ムラの問題が残った。

そこでクス材を高圧蒸気処理したところ色ムラがおさまり深みのある色になったので、この材を用いて試作した。

## 2. 概要

### (1) 開発のフローチャート



### (2) 試作協力企業

東工房（衝立、文机、衣桁）

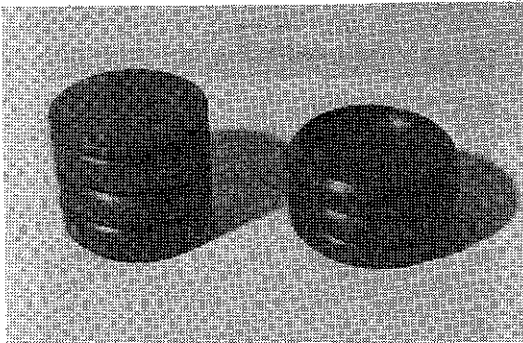
### (3) 試作条件設定

・製品構成は換物を指物の2分野でそれぞれに加工上の問題点を探る。

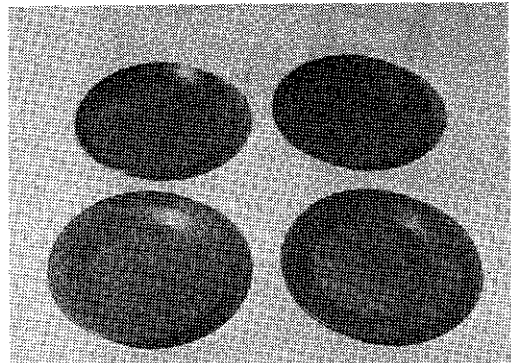
・塗りはチークオイル仕上げ（3回塗り）とする。

・各種技法をできるだけ取り入れる。

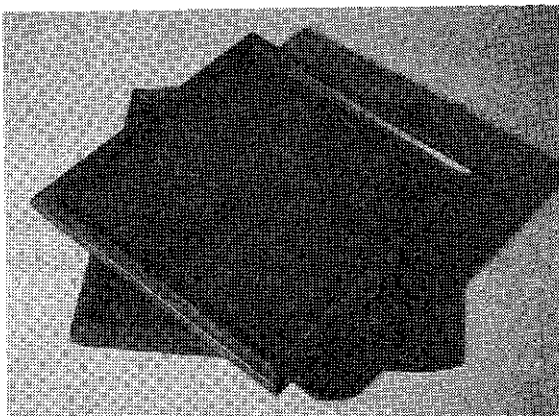
### (4) 試作品



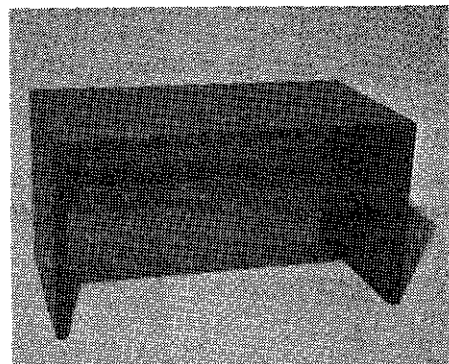
小物入れ 110φ×100mm



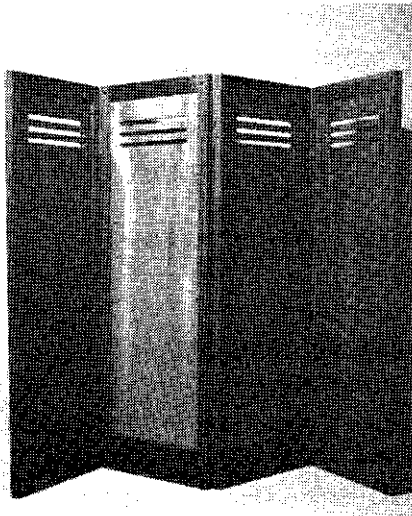
丸皿  
200φ×30mm



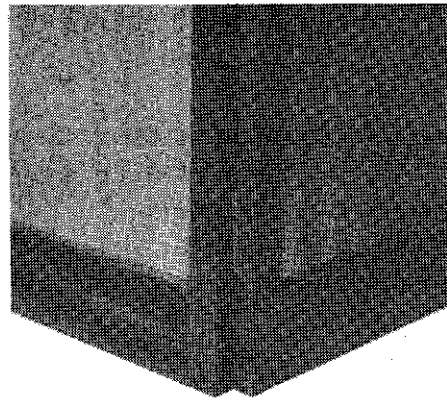
角盆 25×360×360mm



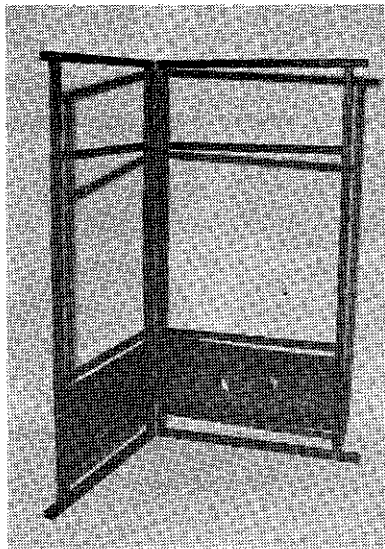
文机 330×450×600mm



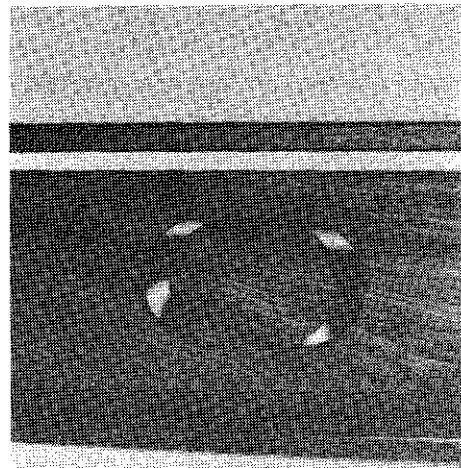
(衝立)  
20 × 1100 × 1200 mm



ディテール



(衣箱)  
20 × 1100 × 1200 mm



ディテール

### 3. まとめ

高圧蒸気処理処件設定については、内部割れやその点で現在の段階では決定できないが、今後引き続き研究していく予定である。試作の結果、加工の際に焦げくさい臭いはするが、時間がたてば消えていき、未処理の材と比較す

るとそりが少ないということがわかった。

チーク色を呈し深みのあるこの材は高級材としての利用が今後期待できるので試作を通して研究を続け、業界移転していく計画である。